



平成22年5月7日

各 位

上場会社名 ソマール株式会社
 代表者 代表取締役社長 常川 謙二
 (コード番号 8152)
 問合せ先責任者 IR部長 近澤 美弘
 (TEL 03-3542-2160)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年10月29日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成22年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	26,283	378	334	197	10.12
今回発表予想(B)	26,025	247	215	101	5.19
増減額(B-A)	△257	△130	△118	△95	
増減率(%)	△1.0	△34.5	△35.6	△48.7	
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	28,391	△265	△250	△997	△51.20

平成22年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	26,411	474	430	292	15.00
今回発表予想(B)	26,088	363	348	230	11.82
増減額(B-A)	△322	△110	△81	△61	
増減率(%)	△1.2	△23.4	△18.9	△21.2	
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	28,569	△184	△149	△894	△45.96

修正の理由

当社グループの主要な関係業界では、エコカー減税やエコポイントなどによる政府の需要喚起策で景気の底打ち感は認められましたが、本格的な需要の回復には至らず全体的には低調な業況が続きました。

こうした状況下、当社グループにおいては、全部門にわたり徹底したコスト削減と業務効率の改善を図り、事業計画とおりに固定費について大幅なコスト削減を実現しましたが、中国を中心としたアジア諸国の新興企業の台頭により、市場における熾烈な価格競争に拍車がかかり、当初の予想を上回る製品の販売価格の引き下げ圧力による利益率の低下に加えて、中国の珠海工場での本格稼働による現地生産への切替につき想定以上の時間を要する等、海外子会社の事業の立ち上がり時期に遅れが生じたため、前回予想と比較して大幅な営業利益の減益になる見込みであります。

また、日本において近い将来導入されることが想定される国際会計基準への柔軟な対応を睨んだ上で、海外子会社を含む全グループ企業における業務効率化・早期化を図るため、業務基幹システムを統一することになったことを受け、既存の基幹システムについて臨時償却を実施した結果、当期純利益についても、前回予想を下回る見込みであります。

※上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づいて作成したものであり、不確定な要素を含んでおりません。従いまして実際の業績等は、今後の様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

以上